

6-2 2/5時の指導計画

(1) 目標

「矛盾」の基になった故事の内容を知り、故事成語である「矛盾」の意味を理解することができる。

(2) 展開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

| | 学習活動 | 教材資料 | ○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面 | 評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て |
|------------------------------------|---|---------|--|---|
| 導 入 | 1 「矛盾」の書き下し文と現代語訳を音読して、前時の学習を振り返る。 | 学習計画表 | ◆書き下し文を電子黒板で投影し、読む箇所の色を変えながら斉読のタイミングをそろえる。 | |
| | 2 本時の目標を確かめる。 | | | |
| 「矛盾」の基になった故事の内容を知り、「矛盾」の意味について考えよう | | | | |
| 展 開 | 3 「矛盾」の4コマ漫画にセリフを入れる。 4 記入したセリフについて、グループで交流する。 5 「矛盾」の意味を自分なりに考えて一文で書き、国語辞典に書かれた意味と比較して理解を深める。 〔手順〕 1) 個人で書く。 2) グループで読み合う。 3) グループで最も適切だと思うものを選び、黒板に書いて紹介する。 | ワークシート② | ○現代語訳や書き下し文を参考にして、4コマ漫画にセリフを書き込ませる。 ○それぞれが書いたセリフを読み合わせ、質問をし合うなどさせて内容の理解を深めさせる。 ○国語辞典に書かれている意味を先に調べさせるのではなく、「矛盾」の故事から、実感的に言葉の意味を考えさせる。 ○「矛盾」の意味として、最も適切だと思うものを考えさせる。 | ◇4コマ漫画に、自分で考えたセリフを書いていない生徒には、現代語訳から抜き出して書くよう促す。 |

| | | | | |
|----------------------|--|-------------------------|--|--|
| <p>展 開</p> | <p>4) 国語辞典で意味を調べ、グループから出した「矛盾」の意味と、国語辞典で調べた意味とを比較する。</p> <p>5) 現代での用例を出し合い、全体で「矛盾」の意味を確認する。</p> <p>《用例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話が矛盾している。 ・言っていることとしていることが矛盾している。 ・森林を大切にしようと言いながら、割りばしを使用するのは矛盾しないか。 ・麦の成長を促すために麦の芽を踏むという行為は、一見、矛盾している。 ・「二度あることは三度ある」と「三度目の正直」ということわざは矛盾しているように見える。 <p>6) 「矛盾」の基になった故事と現代での意味の違いを考えてワークシート②に書く。</p> | <p>ワークシート② 国語辞典</p> | <p>○具体的な故事から、どれくらい抽象化した意味で使われるようになっていくかを理解させる。</p> <p>○「矛盾」という漢字が「矛」と「盾」であること、それらをほめる楚人の言葉がつじつまの合わないことなどを振り返らせる。</p> <div data-bbox="751 748 1078 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《板書例》</p> <p>「矛盾」→説明の言葉だけでなく、言動が一致しないことや一貫性のない取り組みなどについても、幅広くつじつまの合わないことを意味する。</p> </div> | <div data-bbox="1107 210 1453 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【言②】 故事成語の辞書的な意味と故事との関係に注意し、語感を磨いている。</p> <p>【ワークシート②】</p> </div> <div data-bbox="1107 461 1453 694" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「矛盾」の故事と「矛盾」の辞書的な意味の違いについて書いている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> </div> <div data-bbox="1107 712 1453 945" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「矛盾」の基になった故事のあらすじと、「矛盾」の現代での意味を比べて違うところを書くように促す。</p> </div> |
| <p>ま と め</p> | <p>6 学習計画表の「自己評価」の欄に本時の自己評価に合った顔マークを書き、「学んだこと(学習のまとめや感想)」を書いて本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の「目標」と「学習活動」を確かめ、見通しをもつ。</p> | <p>学習計画表</p> | <p>○目標に応じて学習内容がどうであったか考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</p> <p>○次時は、自分の生活における矛盾した出来事について、文章や4コマ漫画をかくことを知らせる。</p> | |